

# 3. 都市交通

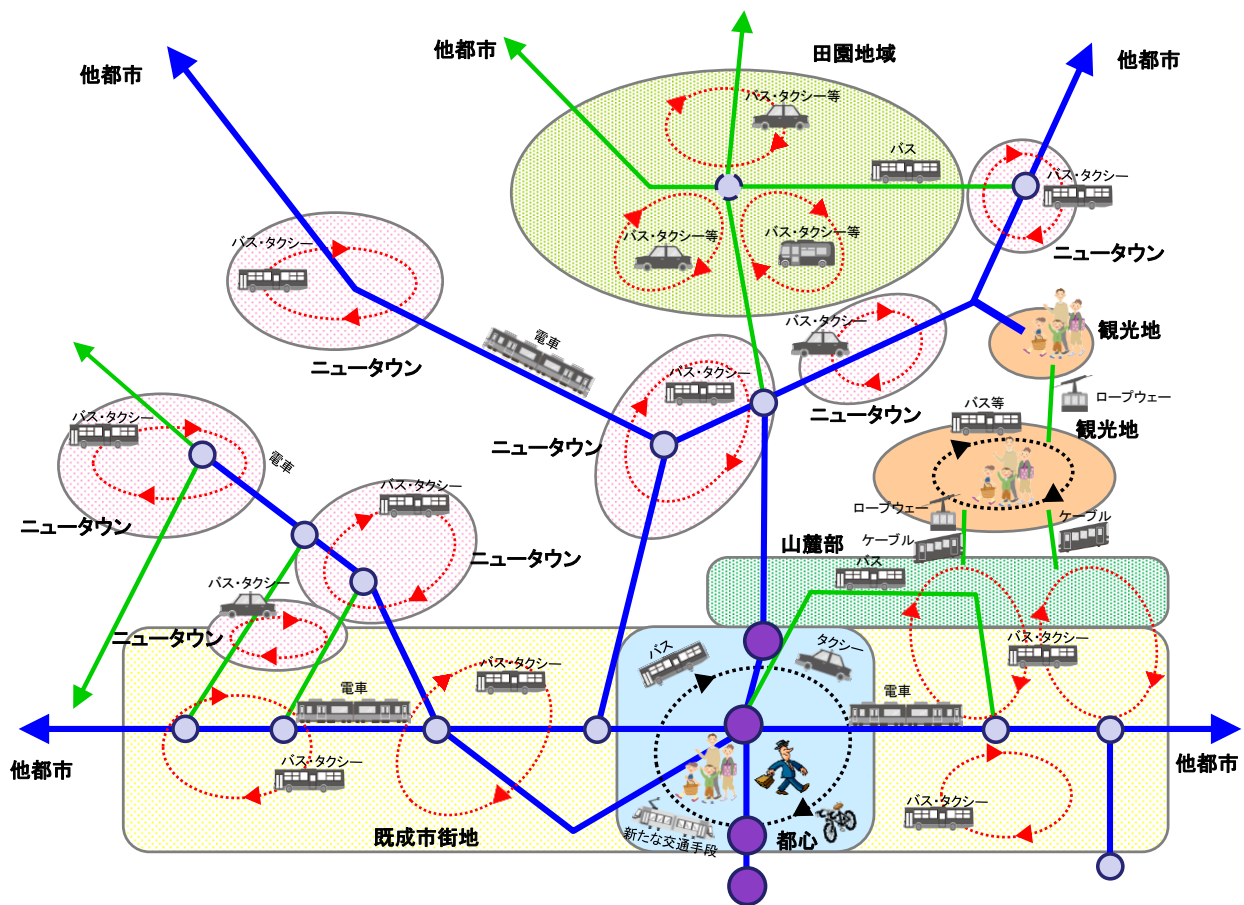
## ■交通ネットワーク

人と物の円滑な流れや知の交流などの多様な都市活動を促進し、これからの神戸の活力・魅力あるまちづくりを支えるために、神戸港や神戸空港などの機能強化をはじめ、市域を超える広域交通ネットワークと連携をはかりながら、環境にも配慮した陸・海・空の総合的な交通環境の形成をめざします。

また、超高齢化の進行をふまえた、すべての人にやさしく、暮らしやすいまちづくりや、低炭素都市を実現するために、市民の自発的な行動転換を促すとともに、鉄道やバスなどの公共交通を中心とした交通ネットワークの維持・形成を推進します。

このようなまちづくりの実現に向けて、平成29年3月には、神戸市総合交通計画の基本方針を踏まえた「神戸市地域公共交通網形成計画」を策定（令和3年5月に「神戸市地域公共交通計画」として改訂）し、公共交通を中心としたコンパクトなまちづくりの積極的な推進と、公共交通の維持・充実に向けた取り組みを進めています。

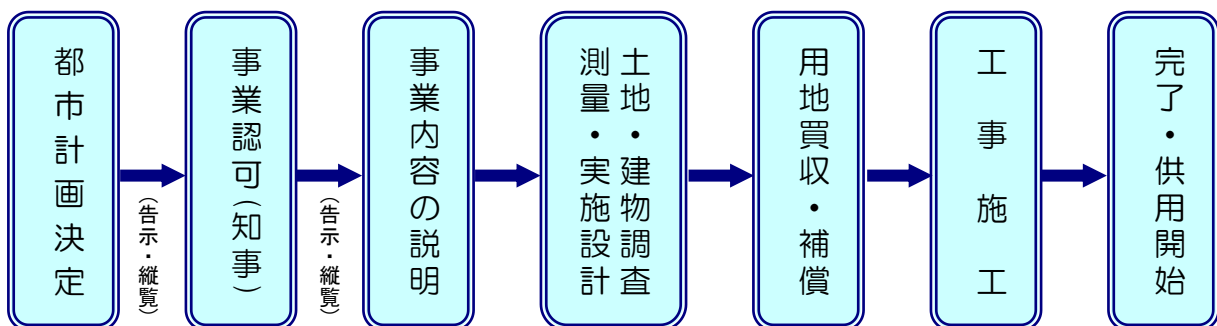
公共交通ネットワークの将来像



## ■街路事業

街路事業は、都市計画道路を用地買収方式により整備する手法であり、幹線道路の整備のほかに、沿道市街地との一体的な道路整備、鉄道との連続立体交差事業、鉄道駅の自由通路など交通結節点の整備などを行っています。また、都心部では、歩行者の安全かつ快適な通行や回遊性、利便性を確保するために、地下・地上・デッキの各層レベルに応じた歩行者通路のネットワーク（3層ネットワーク）の整備を行っています。

### ◆都市計画決定から整備までの流れ◆



### ◆都市計画決定状況と整備状況◆ (令和4年4月現在)

| 区分      | 計画延長<br>(km)     | 路線数 | 完成<br>(km)         | 事業中<br>(km)      | 未着手<br>(km)      |
|---------|------------------|-----|--------------------|------------------|------------------|
| 自動車専用道路 | 136.88           | 13  | 106.23             | 20.64            | 10.01            |
| 幹線街路    | 602.96           | 286 | 545.41             | 12.93            | 44.62            |
| 区画街路    | 34.83            | 195 | 30.82              | 3.84             | 0.17             |
| 特殊街路    | 21.89            | 49  | 21.84              | 0.05             | 0.00             |
| 計       | 796.56<br>(100%) | 543 | 704.30<br>(88.42%) | 37.46<br>(4.70%) | 54.80<br>(6.88%) |

◆最近の街路事業の事例◆



摂津本山駅線（自由通路）



星陵台舞子坂線



神戸三田線（大池）等  
（沿道整備街路事業）



山手幹線（灘工区）



阪神電鉄連続立体交差事業



三宮駅前東地下線（地下通路）



## ■交通結節機能の向上（三宮駅）

神戸の玄関口である三宮駅周辺は、商業、業務、文化施設等が集積するとともに、JR、阪急、阪神、地下鉄、ポートライナー等の6つの駅が集まり、1日約70万人の鉄道乗降客が利用する市内最大のターミナルです。またポートライナーにより神戸空港とも結ばれていることから、空の交通との結節点としても重要な拠点となっています。

現在、三宮駅周辺では、「三宮周辺地区の『再整備基本構想』（平成27年9月策定）」において位置づけた、「えきまち空間」の実現を目指し、取り組みを進めています。

具体的には、

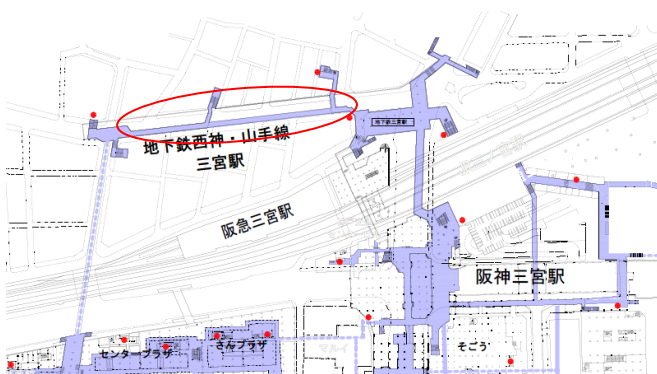
- ・「三宮クロススクエア」の創出により、駅からまちへの回遊性を向上
- ・分かりやすい縦動線の整備による、3層ネットワークの強化・乗換え動線の「見通し」の確保等により、駅と駅とのつながりを強化
- ・駅前広場機能の再配分と駅周辺の歩行者空間の整備
- ・都心における公共交通(LRT・BRT・循環バス)等やシェアサイクルなど、多様な回遊手段の確保
- ・新たなバスターミナルの整備による、中・長距離バス乗降場の集約
- ・路線バス乗降場の方面別の集約

などを推進し、「誰にでも分かりやすい交通結節点」を目指します。

### ●3層ネットワークの強化

三宮駅周辺において、公共空間や民間ビルの再開発等にあわせて、地下・地上・デッキレベルにおける歩行者動線の3層ネットワークの強化を推進するとともに、ユニバーサルデザインにも配慮し、エレベーター等の整備もあわせて推進しています。

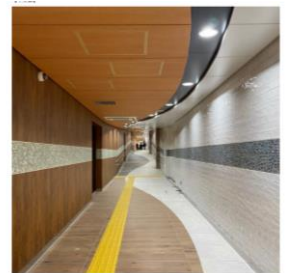
#### <地下レベル>



市営地下鉄西神・山手線「三宮駅東西連絡通路整備完了

令和2年12月25日供用開始

延長：約120m



#### <地上・デッキレベル>



三宮駅周辺歩行者デッキ整備 設計中

令和9年度以降順次完成予定



## ●阪神三宮駅の改良

阪神三宮駅は、西側1箇所の改札口のため、ラッシュ時には大変混雑する上、火災時の円滑な避難など防災上の課題を抱えていました。

そこで阪神三宮駅では、駅施設の利用円滑化と交通結節機能の高度化を図り、駅全体の改良（東改札口の新設、駅構内配線の変更、エレベーターの新設、プラットホームの拡幅・延伸、駅排煙設備新設など）に取り組み、平成25年3月20日に完了しました。なお、平成24年3月20日に東改札口が供用開始し、ラッシュ時の混雑緩和や災害時などの2方向避難路が確保されました。加えて、平成24年度に阪神電鉄が行った西改札口前通路の拡幅にあわせ、西改札口周辺における天井、壁面などの改修や案内サインの整備を行うなど、魅力的な地下空間を創出しました。



阪神三宮駅東改札口（平成24年3月20日供用開始）



阪神三宮駅西改札口前

## ●新たなバスターミナルの整備

現在、三宮駅周辺に分散している中・長距離バス乗降場をミント神戸に隣接する雲井通5・6丁目エリアに集約し、新たなバスターミナルを整備することについて、平成30年3月に「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画」を策定しました。

現在、段階的に整備を進めており、先行するI期・雲井通5丁目エリアにおいては、令和2年3月に都市再生特別地区と市街地再開発事業の都市計画決定を行い、令和9年度の工事完了を目指しています。



三宮バスターミナル



三宮バスターミナル 待合室